題目（ゴシック、12ポイントセンタリング）

Ⅹ-2　抄録原稿書式

発表順と頁番号

－副題－（副題がない場合はあける）

 学籍番号（半角・アルファベットは大文字）　○○　○○

研究セミナー担当教員　○○　○○

（あける）

**Ⅰ　問題**←太字。明朝

**Ⅱ　方法**←太字。明朝

１　対象児　←太字にしない。明朝

【発表会レジュメ・抄録共通の注意事項】

* 22字×40行×2段組。
* 4ページ以内（構想検討会は1枚以上）で作成すること。
* 題目の文字サイズは12ポイント、フォントはゴシックを使用。
* 本文の文字サイズは10.5ポイント、見出し（ローマ数字の行は太字）、フォントは明朝を使用。
* 見出し数字の後にピリオドをつけず、一文字空けて書く。
* 見出し数字は、常に左端から書く。
* 文献は、本文において引用されたすべての文献を著者名のアルファベット順に抄録の最後に　文献　として記載する。文献．　や、　引用文献　と表示しない。一つの文献の記載が二行にわたる場合は、二行目は一字分あけてから書き出す。

文献

河合康 (2012) 日本との比較からみたインドネシアの特別支援学校学習指導要領に関する一考察．上越教育大学研究紀要，31，155-161．

* 4ページ以内に収める。

氏名は明朝10.5p 姓と名の間一字あけて右寄せ

【図・表の表記の注意事項】

* 原則として｢図｣｢表｣とする。なお，図表の内容を英語表記する場合には「Fig.」｢Table」とする。但し，論文内では必ず表記を統一。
* 図・表のタイトルは内容を的確に示すように簡潔明瞭に記す。内容を説明する注釈を付加してもよい。
* タイトルの記入位置は，図は下，表は上にする。
* 図表に外枠をつけない。
* 棒グラフ・線グラフ等の図では必ず縦軸・横軸を記し，軸の名称，単位を記入する。
* 表では，縦罫線はできるだけ使用しないですむように工夫する。
* アスタリスクは統計学上の有意水準を示すときにのみ用いる。
* 図は，紙面の下部，表は上部にレイアウトする。
* 図表は文献の前にレイアウトする。
* 図表では原則として黒色を使用する。

【抄録原稿のみについての注意事項】

* 視認性を高めるためのカラー図版およびカラー写真は可とする。
* 研究セミナー担当教員の指示に基づいて作成した抄録をM2･M3担任にメール添付ファイルで提出する(提出先：fkazuko@juen.ac.jp)。
* 研究セミナー担当教員名は入れない。